

わる旋律で（譜例 29-2）、第2 楽句はそれに続く模倣的な優しい歌である（譜例 29-3）。半音階下行のめだつ楽句と力強い和音楽句による推移を経て結尾楽句群となる。高音域のコラール風のゆったりとした旋律は、天国的で美しい（譜例 29-4）。これは第3 主題とっていいような存在感があり、作曲家も「歌うように」「甘く表情豊かに」とたくさんの指示を書き込んでいる。この結尾主題がトリルをつけて反復し、律動的で力強い結尾楽句でしめくくる。

展開部は結尾楽句で始まり、ファンファーレ動機によるフガートとなる。このフガートは声部を重ねながら大規模に展開され、その頂点で心の叫びのような痛切な和音となる。やがてホ短調で結尾主題が現れ、ファンファーレ動機のアウトタクト音型のストレッタで高揚し、再現部に突入する。第1 主題の前楽節には律動的なバスのオブリガートが付き、後楽節の紡ぎ出しは転調して変ト長調に到達する。かなり凝った再現だ。第2 主題以降は変口長調で定石どおり再現される。コーダではまず幻想的な結尾主題が現れ、ファンファーレ主題で頂点を築き、バスのトリルとともにしだいに弱まり、強力な和音で終わる。

【譜例 29-1】 第1 楽章 導入と第1 主題

Allegro ♩ = 138

The score consists of two systems of piano accompaniment. The first system shows the introduction with a forte (ff) dynamic and a piano (p) dynamic. The second system shows the first theme with a ritardando (ritard.) marking.

【譜例 29-2】 第1 楽章 第2 主題第1 楽句

(8<sup>va</sup>)

The score shows the first sentence of the second theme, marked with a piano (p) dynamic and a crescendo (cresc.) marking. The score is in G minor, 3/4 time, and features a piano (p) dynamic marking.